

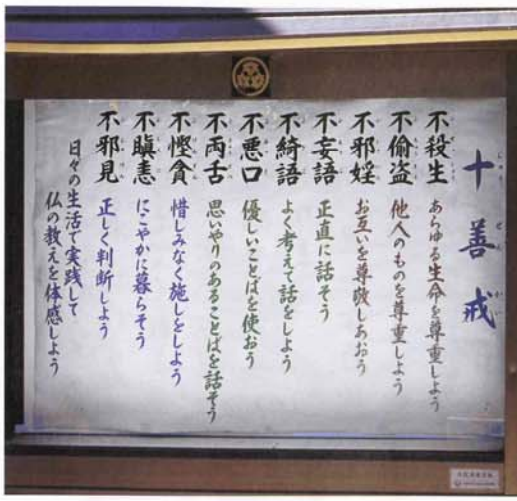
法の水茎

大正大学講師 高橋 秀城 (55)

四年は、東京でも五十を觀測しました。高尾山の山頂でも二十センチの積雪があり、紅葉が十足早く雪化粧しました。

新年は、東京でも五十を觀測しました。高尾山の山頂でも二十センチの積雪があり、紅葉が十足早く雪化粧しました。

しるすとならし
雪の降れるは
（「万葉集」葛井諸会）
（新しい年の初めに、今年
の豊作の吉兆なので
しよう。雪がこのようなに降
り積もるのには）
皆さんは、雪の時節を
お好きでしょうか。豪雪



十善戒の教えを守り少しづつ心が清められる

地帯の方々は雪下ろしなど大変な思いでしょうが、新年の大雪は、古くから良い兆しの現れとして喜ばれても来ました。歌にある「豊の稔」とは、「草木が豊かに実を結ぶこと」を表します。深空から舞い降りる雪の一片は、豊かな秋の実りを予感させるものでもあるのです。『稔』には「これまでの努力が報われます」という意味もあります。新年に真っ白な雪景色が見られたら、今年一年の幸いを心静かに祈りたいものです。高尾山薬王院においては、元日から大山隆玄御貫首・大導師のもと「新年特別開帳大護摩供」が執り行われます。僧侶と信者の皆様とが一心にお経を唱え、世界平和や五穀豊穡、家内安全や無病息災などの祈りを捧げます。新しい年の始まりを皆で祝い、新たな夢と目標を胸に、この一年の幸せを願います。

昨年四月号からこれまで、十種類の善い行い

について書き進めてきました。不殺生（あらゆる生命を尊重しよう）から始まる「十善戒」は、特に真言宗で重んじられています。真言宗智山派の「智山勤行式」を手にとり、お寺やお仏壇の前で、お唱えになつていらっしゃる方もいらっしゃるでしょう。「十善戒」は「弟子某甲 尽未来際（仏様を信じる私はいつまでも）という文言で始まっているように、十の教えを守り続けることによつて、少しづつ心が清められていきます。日常生活で嫌なことがあつても、「十善戒の衣」を身に纏えば、迷うことのない安らぎの道に導かれるでしょう。さて今回は、十番目の「不邪見」の教えについて書いてみたいと思います。「邪見」の「邪」は「心がねじ曲がつていること」、「見」は「ものの考え方」という意味です。こうした「間違つた考え」を持つと、どのようなことになってしまうのでしょうか。

り、馬鹿にされたりすることを「邪慳にされた」と言います。「邪見」と「邪慳」（邪険）は漢字は異なりますが、思いやりがなく、無慈悲な行動（邪慳）は、全て「間違つた考え」（邪見）から引き起こされたものです。「邪見の角」「邪見の刃」という言い回しがあるように、邪見は物事を荒立て、刃のように危害を加えます。邪見の心は、他人を傷つけるのです。

ただ、邪見の心はなかなか本人には見えませんが、相手に傷を負わせても、自分では正しいと思つている場合もあります。どこからが正しくて、どこからが邪な考えになるのかも曖昧な中で、何をお手本としたら良いのでしょうか。

昔天竺（インド）にある国王の妃がいらつしました。慈悲の心が深く、あらゆるものに哀れみの心を持ち、清らかな信心を保ち、仏・法・僧の三宝を敬つておられま

折り折りの記 (89)

波多野 重雄

翁も媪もケーブルカーで初詣

昨年十一月二十四日、朝五時頃時雨は五十四年ぶりの初雪となる。午後二時頃止み（約八糎）、高尾山は（約二〇糎）忽ち銀世界。紅葉が雪化粧して別世界の様相を呈し、朝日に雪が傾れるのを見た。

昨年九月の高齢者（六五歳以上）人口は三、四六一人となり、人口比二七・三％となる。この影響は薬王院の初詣にも影響し若者は健脚、翁や媪らをケーブルカーでピストン輸送する。参拝客は近年平常化し、外国人客の増加傾向。お山は真昼の明るさだ。（高尾山健康登山の会長）

歌会始

梅不待春暖
寒風中開花
皇恩深於海
皇民同詠嘉

民の章

厚木市 荒井 一雄

おもふ皇こそうれしけれ
いまこそおもへ皇の健康
梅は、春暖を待たず、
寒風の中に開花す……
天皇陛下の恩愛は、
海於も深し……
天皇陛下と国民が
共に詠じ、言祝ぐは、
まさに吉祥なり……

ある時、王は嫉妬心のあまりに、王妃に向けて弓を引きます。しかし、妃は少しも恨みに思わず、むしろますます慈悲の心を起して、王の邪見と、来世で受ける苦しみに同情しました。すると、矢は向きを変えて、王の胸に刺さり、逆に死んでしまわれたのです。

世間の諺にも、
握れる拳、
笑める面に
あたらず。

の仏性（もとから私たち）に備わっている仏様の心が現れるかどうかは、ひとえに慈悲の心にかかっているのです。

（『沙石集』）
ここに登場する王と妃は、対照的な心柄でした。邪見な王は、日頃から憎しみに満ちた表情をし、対して、慈しみの心（慈悲心）を身につけていた妃は、心の底からの笑顔で人と接しています。これは邪見の林に迷い込まない、お手本となる言動と言えましょう。揺るぎない慈悲心によつて、周

りをも幸せにする妃の行いは、仏様そのものであつたと考えられます。

一切の悪業は、
邪見を因と爲す。
（『涅槃経』）
（全ての悪い行いは、邪悪な心がかもとである）
一月は「睦月」とも呼ばれます。一説では、新年を迎えて人々が仲睦まじくするから名付けられたとか（『興義抄』）。しんと降り積れな雪のように心を浄め、心温かな一年の第一歩を踏み出してみましよう。
（栃木北部教区普濟寺）

JR高尾駅 交通安全祈願
天狗面被い法要厳修
十二月十一日（日）